

吉原界限 & 一葉記念館

吉原界限は、江戸幕府によって公認された遊郭があった所ですが、明治以降縮小を余儀なくされました。吉原遊郭の建物は現存しませんが、有名な大門の跡や見返り柳、五十間道などが残っています。これらの史跡を見ながら遊女と遊郭の歴史を詳しく解説します。

また「樋口一葉記念館」は昭和 36 年（1961）地元住民の熱意に応じて開館。一葉の「たけくらべ」は、吉原近くの龍泉寺町での極貧生活体験の中から生まれたといわれています。

本年度 2 回目の歴史ウォークは、吉原界限の散策です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2月10日（土） 集合：午後2時 地下鉄日比谷線「三ノ輪駅」3番出口

会費：1000 円（一葉記念館入場料他）

参加ご希望のかたは、藤澤 礎 mail:mssh.fjsw@gmail.com 宛に 2月3日（土）迄にお申込みください。前日の天気予報で雨が 50%以上の場合は中止し、翌月に順延します。判断がつきにくい時は、藤澤さん携帯（090-4391-7665）にお問い合わせください。

朱印ご希望のかたは、朱印帳をお忘れなきようご持参ください。



吉原に残る見返り柳



樋口 一葉の碑



浄閑寺山門

安政 2 年（1855）の大地震の際、多くの新吉原の遊女が投げ込むように葬られたことから「投込寺」と呼ばれるようになりました。



懇親会は、池袋「清龍」で行ないます。参加の連絡の際に出欠をおっしゃってください。

「浄閑寺」にある、下町をこの上なく愛した永井荷風の記念碑